

規制のサンドボックス制度の認定取得について
～金融と電力データの融合で第一号、
電力設備情報を活用した不正銀行口座の開設防止に関する実証～

2019年3月6日
株式会社カウリス
関西電力株式会社
株式会社セブン銀行

株式会社カウリス（以下、カウリス）と関西電力株式会社（以下、関西電力）は、本日、金融と電力データを活用した分野で第一号となる「新技術等実証制度※¹」（いわゆる「規制のサンドボックス制度」）の認定を取得しました。

カウリスおよび関西電力が提出している新技術等実証計画（以下、実証計画）では、両社の持つリソースを組み合わせることで、不正な銀行口座（アカウント）の開設を防止する新たな技術の実効性を検証することとしております。

カウリスは、これまでインターネットサービス事業者からIPアドレス等の情報を収集し、申請したユーザーが本人であるかどうかを検知する「なりすまし検知サービス」を金融機関等に提供してきました。

実証計画では、カウリスの持つなりすまし等の不正アクセス検知の技術に加えて、関西電力の保有する電力設備情報の一部を組み合わせることにより、より確度の高い、なりすましの可能性に関するリスク情報を提供することとし、株式会社セブン銀行（以下、セブン銀行）で活用します。

なお、本実証計画の策定に当たっては、規制のサンドボックス制度に早期に着目し、イノベーション促進に向けた法務面のサポートを実施している、森・濱田松本法律事務所の「MHMLab※²」の監修を受けております。

カウリスと関西電力、セブン銀行は、各社が持つ強みを活かし、サービス事業者とそのユーザーが、安心安全に、ネット社会の利便性を享受できる世の中を支えるインフラを構築し、不正口座の開設といった社会問題の解決に貢献してまいります。

以 上

※1 「新技術等実証制度」（いわゆる「規制のサンドボックス制度」）は、新しい技術やビジネスモデルを用いた事業活動を促進することを目的に、生産性向上特別措置法（2018年6月6日施行）に基づき創設されました。

本制度は、参加者や期間を限定すること等により、既存の規制の適用を受けることなく、新しい技術等の実証を行うことができる環境を整えることで、迅速な実証を可能とするとともに、実証で得られた情報・資料を活用できるようにして、規制改革を推進する制度です。

※2 「MHMLab」はイノベティブなビジネスを実証実験から実務展開まで、法務面から支援するためのプロジェクトです。